

第3章 ごみの排出量及び処理量の見込み

本章では、特に新たな排出抑制・再生利用の促進・循環型社会形成に向けた改善を行わない場合のごみの排出量及び処理量の見込みを示すこととします。ごみの排出量及び処理量の将来推計に当たっては、過去の1人1日当たりの排出量（グラム/人・日）の実績からトレンド法を用いて算出することとします。

第1節 家庭系ごみ及び集団回収

1 家庭系ごみ

家庭系ごみ排出量及び処理量の将来推計値は次のとおりです。家庭系ごみは減少傾向にあり、今後も減少していくものと予想され、令和7年度の推計値は1人1日当たり560グラム（令和元年度から26グラムの減）と推計されます。

表 9-1 家庭系ごみの推計値

	実績値		推計値
	平成 26 年度	令和元年度	令和 7 年度
家庭系ごみ	643g/人・日	586g/人・日	560g/人・日

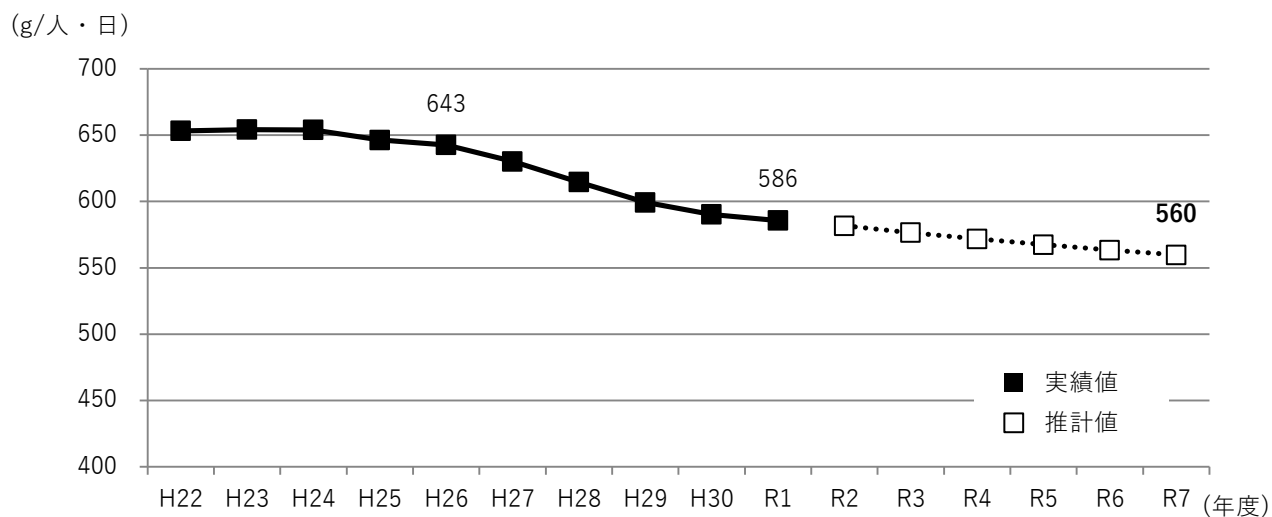


図 9-1 家庭系ごみの将来推計

2 集団回収

集団回収の排出量及び処理量の将来推計値は次のとおりです。集団回収は平成 28 年度以降大きく減少しており、今後も減少していくものと予想され、令和 7 年度の推計値は 1 人 1 日当たり 4 グラム（令和元年度から 3 グラムの減）と推計されます。

表 9-2 集団回収の推計値

	実績値		推計値
	平成 26 年度	令和元年度	令和 7 年度
集団回収	12g/人・日	7g/人・日	4g/人・日

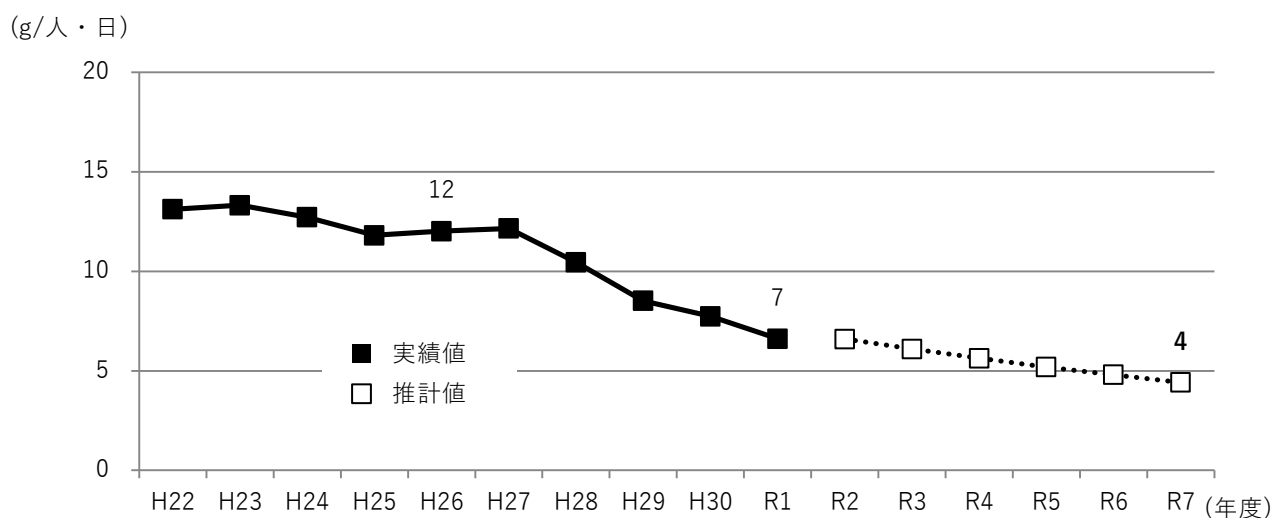


図 9-2 集団回収の将来推計

3 家庭系ごみ（資源物を除く）

家庭系ごみから資源物を除いた排出量及び処理量については、国の目標値が定められています。令和7年度の推計値は1人1日当たり517グラム(令和元年度から8グラムの減)と推計されます。家庭系ごみ全体の推計と比べ減少幅が少なくなっています。

表 9-3 家庭系ごみ（資源物を除く）の推計値

	実績値		推計値
	平成 26 年度	令和元年度	令和 7 年度
家庭系ごみ (資源物を除く)	534g/人・日	525g/人・日	517g/人・日

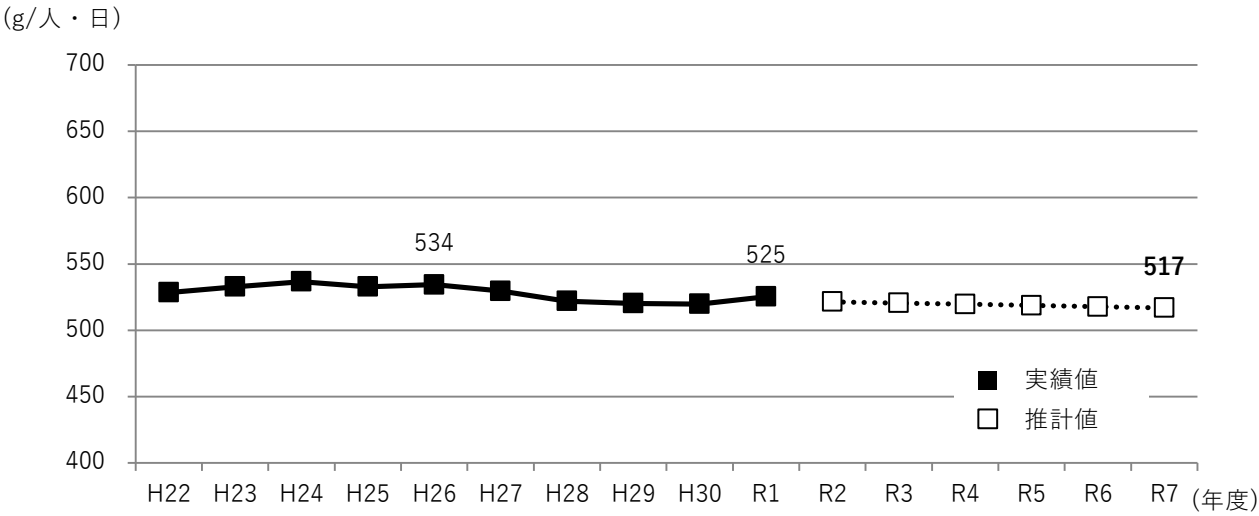


図 9-3 家庭系ごみ（資源物を除く）の将来推計

第2節 事業系ごみ

事業系ごみ排出量及び処理量の将来推計値は次のとおりです。事業系ごみは横ばい傾向にあり、今後も横ばいのまま推移すると予想され、令和7年度の推計値は1人1日当たり346グラム（令和元年度と同量）と推計されます。

表 9-4 事業系ごみの推計値

	実績値		推計値
	平成 26 年度	令和元年度	令和 7 年度
事業系ごみ	341g/人・日	346g/人・日	346g/人・日

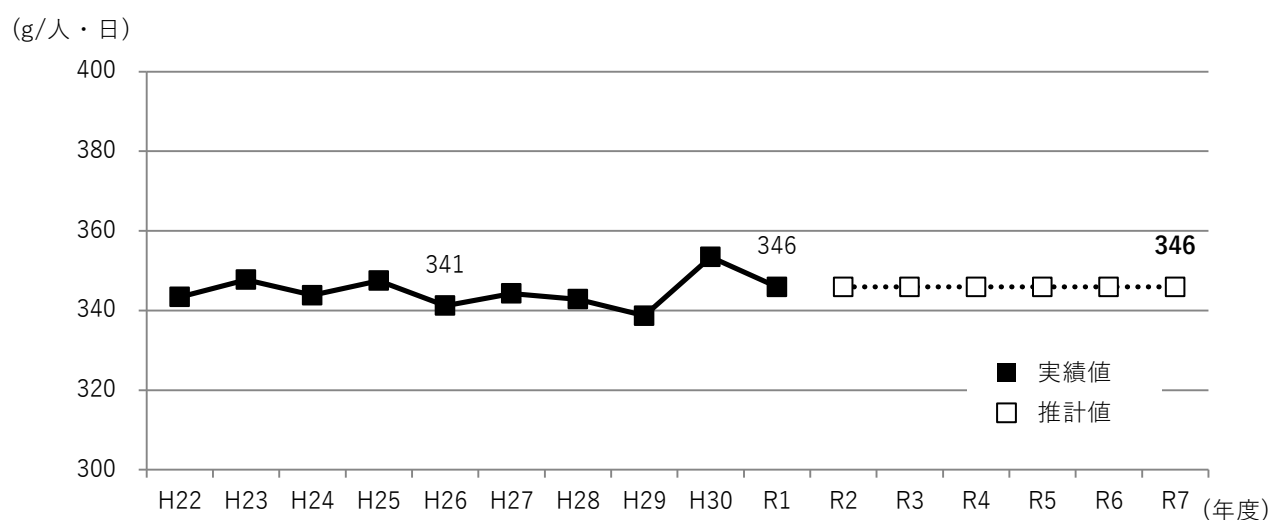


図 9-4 事業系ごみの将来推計

第 3 節 ごみ総排出量

以上をまとめると、ごみ総排出量及び総処理量の将来推計値は次のとおりとなります。

表 9-5 ごみ総排出量の推計値

	実績値		推計値
	平成 26 年度	令和元年度	令和 7 年度
家庭系ごみ	643g/人・日 (534g/人・日) ²	586g/人・日 (525g/人・日)	560g/人・日 (517g/人・日)
集団回収	12g/人・日	7g/人・日	4g/人・日
事業系ごみ	341g/人・日	346g/人・日	346g/人・日
ごみ総排出量及び 総処理量	996g/人・日	938g/人・日	910g/人・日

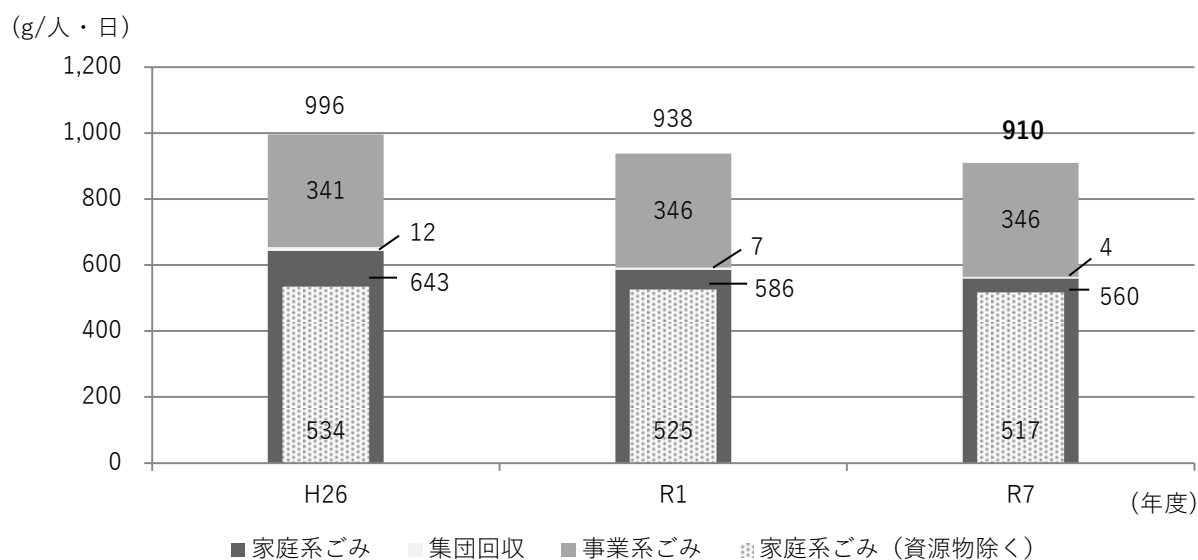


図 9-5 ごみ総排出量の将来推計

2 カッコ内は、家庭系ごみのうち、資源物を除いた排出量